

# 大風 便り

第148号

大風会館HP <http://oodako.net/>

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 平成30年9月25日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3-5

TEL:0748-23-0081 FAX:0748-23-1860

IP:050-5801-1140

開館時間:9時~17時 休館日:毎週水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎週第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

## 2018年特別企画

### ≡東北の風シリーズI 青森・岩手・宮城≡

開催期間 10月25日(木)~11月26日(月)

期間中の休館日 毎週水曜日

入館料 一般:300円 小・中学生:150円

**東北の風**  
シリーズI  
青森・岩手・宮城

平成30年  
10月25日(木)  
▶▶▶ 11月26日(月)

### 世界風博物館 東近江大風会館

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号

TEL.0748-23-0081

FAX.0748-23-1860

IP電話:050-5801-1140

開館時間 午前9時~午後5時

(ただし入館は午後4時30分まで)

期間中の休館日 毎週水曜日

入館料 一般/300円 小・中学生/150円

東近江大風会館HP

<http://oodako.net/>

東近江大風会館ブログ

<http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>



11月18日(日)は「家族ふれあいサンデー」です。東近江市民は保護者と18歳以下の子どもを含む家族で「ふれあいカード」をご持参いただきますと無料でご入館いただけます。

「滋賀県勤労者互助会会員証」ご提示で、50円引きでご入館いただけます。



今年の夏は酷暑でしたが、ようやく涼しくなり過ぎやすすくなりました。秋らしさを感じる季節の中、学校や地域では、スポーツの秋ということで運動会が催されています。また、食・展示・体験などの秋のイベントも各地で開催され、楽しい企画がいっぱいです。

東近江大風会館では昨年の北海道地方の風展に引き続き、東北の風シリーズの第一弾として、青森県と岩手県、そして宮城県の風を展示する「東北の風シリーズI 青森・岩手・宮城」を10月25日(木)から11月26日(月)まで開催します。

青森県を代表する津軽風の絵は、ねぶた絵のように勇壮な武者絵が多く描かれています。また、津軽地方では寒さで竹がなかなか育たないため、風の骨にはヒバ材を薄く削ったものを使っています。そのほか、歌舞伎絵が多い青森風、ダルマが描かれた本郷風も展示します。

岩手県は盛岡の風研究家が古い資料から復元した南部地方の風を展示します。宮城県は「てんばた」と呼ぶ風や子ども達が揚げていた「するめっこ」と呼ばれる風、気仙沼市で大漁のお祝で揚げる「日の出」をデザインした風を展示します。

現在、約30点の風を展示する予定で準備中です。

10月号で詳しく展示会を紹介させていただけると思います。

みなさん、是非、ご来館ください。

## ≡インターンシップ≡



東近江大風会館では、今年もノートルダム女子大学からインターンシップで実習生1名を受入れました。期間中は、博物館資料の整理、来館者対応、東近江市の施設見学など行いました。下記は実習生からの感想文です。

この度、9月3日から17日の10日間、インターンシップで京都ノートルダム女子大学から参加させていただきました。まず簡単にインターンシップとは学生が就業前に企業などで「就業体験」をすることです。10日間という期間は長いようであっという間に終わり、大変濃くて有意義な時間を過ごす事が出来ました。10日間という期間の中で得たものをしっかりと考え、これから本格的に始まる就職活動に役立てていきたいと思っています。10日間という期間は長いかと思いますが、やはり短期のインターンシップで得られるものと量、質は違ってくるので私は長期のインターンシップに参加して良かったと思っています。お忙しい中、10日間ありがとうございました。大変勉強になりました。



## ≡日本独楽博物館≡



先日、「夏休み特別企画展~ようこそ“思い出”の夏休み展へ」でお世話になりました、名古屋市にある日本独楽博物館へ借用物の返却とご挨拶に伺いました。「むかし遊びの笑タイム」でショーを披露してくださった、ゆきちゃんとコマのるばんさんはいらっやいませんでしたが、独楽博物館の館長である“コマのおっちゃん”に会うことができました。



日本独楽博物館には初めて伺いましたが、日本だけでなく世界中のコマが展示してあり、予想を超えたコマの多さに驚きました。コマは日本のものだと思っていたので、他の国のコマを見ることができ、そして国によって少しずつ形やデザインが違うことを知り、とても面白かったです。中には大きさが5ミリにも満たない小さいコマもあり、小さくてもコマにはちゃんと絵柄も描かれていて、こんなに小さいコマも作ることができるんだなあと驚きました。



笑タイム後の体験コーナーで、私も久しぶりにコマ回しやけん玉をしましたが、ちゃんとできるまで真剣に練習してしまい、とても楽しかったです。むかし遊びには、テレビゲームにはない面白さがあるので、今の子ども達にもその楽しさを知ってほしいなと思いました。

日本独楽博物館 052-661-3671

<http://www.wa.commufa.jp/~koma/>

愛知県名古屋市港区中之島通4丁目7の2

＝チャレンジ“大凧”2020始まる＝

「活かそう！君の力」



凧の説明

平成30年度の大凧は、上部に「いか」を2匹、下部に「カ」の大文字と周りに黄身を書いて、「活かそう！（イカ双）君の（黄身）カ」と読ませる判じもんとなっています。

東近江市の子ども達へ、自分の持っている力を学校、家庭、地域などで活かしてほしいというメッセージです。



「東近江大凧」の製作・飛揚技術を次代に伝承していくための後継者養成プロジェクトとして、市内小学5・6年生を対象に8畳敷き大凧作りを体験する「チャレンジ大凧2020」が9月8日（土）から始まりました。このプロジェクトは平成19年度から行い、今年の参加者は東近江市内の5、6年生で10人です。

初日は、大凧製作の始まりの儀式である「のりつけ式」です。製作する8畳サイズの大凧の図柄が発表され、その後、参加メンバーの子ども達は最初の2枚の和紙を継ぐ「のりつけの儀」を行いました。作業説明や乾杯、記念撮影が終わった後、8畳敷のサイズに和紙を順番に継ぎ合わせる「紙継ぎ」の作業を行いました。

22日（土）は、グループをふたつに分け、竹の骨に紙テープを巻く「紙巻き」の作業を行うグループと骨組と絵柄の目安となる設計図を大工さんが使う墨打ち壺を使って書くグループに分けて作業が行われました。その後、下絵・色つけ・骨組・合体・糸調整と作業が進み、11月3日（土）には完成予定です。11月10日（土）に大凧揚げの技術の説明や習得が行われたあと、11月18日（日）に静岡県浜松市で開催される「全国凧揚げ浜松大会」で、大空高く舞い揚げます。



のりつけの儀



紙継ぎ



墨打ち



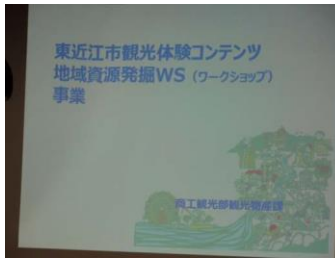
紙巻き

＝東近江市体験博覧会＝

博覧会実現に向けた、ビジョン共有ミーティング



「東近江市にはこんな宝や魅力がある」ということを活かして東近江市ならではの体験コンテンツを一緒につくっていきませんか。という「博覧会実現に向けた、ビジョン共有ミーティング」という名前だけではちょっと難しそうなテーマ



何をやるんだろう？どんな内容なんだろう？とドキドキしながらにやらミーティングというものに参加してきました。

講師はまちづくりコーディネーターの蒲氏、「できること、やりたいこと、目指す町」をテーマに参加者が席替えをしながらワールドカフェスタイルで東近江について意見を出し合いました。どうやら東近江の歴史や伝統、ここに来ないと感じられない事や体験できないことを集めてイベントにしようという事ようです。

「この土地ならではの」「伝統」このキーワード。「東近江大凧」もストライクのはず！？東近江大凧会館としても何か参加できないかしら？とワクワクして帰ってきました。

講師はまちづくりコーディネーターの蒲氏、「できること、やりたいこと、目指す町」をテーマに参加者が席替えをしながらワールドカフェスタイルで東近江について意見を出し合いました。どうやら東近江の歴史や伝統、ここに来ないと感じられない事や体験できないことを集めてイベントにしようという事ようです。



＝東近江大凧会館へお立ち寄りください＝

特別企画展「思い出の夏休み展」では、多くの子どもたちから年配の方まで来館いただきました。

展示されていた昔懐かしいグリコの豆おもちゃ、プリキのおもちゃ、うちわ、懐かしい写真やパンフレットなど興味津々で、「昔はよく遊んだわ」「懐かしいなー」と言って、見入ってしまう方々がたくさんおられました。

大凧会館では、今年も大学生のインターンシップや博物館実習生を受け入れており、京都造形芸術大学、京都ノートルダム女子大学から来客の対応や展示の方法などを学んでいただきました。

暑い夏や台風シーズンも終わり、だんだんと秋が深まる季節となりました。行楽の秋、芸術の秋とも言われ、快適な季節となりますが、東近江大凧会館では、年間を通じて色々なイベントを開催しておりますので、ご家族一緒にお立ち寄りください。来館をお待ちしております。

＝巨大！100畳大凧の謎の発見と干支凧作り体験＝

7色にきらめく  
話題のアトスポッへ

巨大！100畳大凧の謎の発見と干支凧作り体験

大凧の歴史や特徴、魅力を知る企画。願いが込められた干支の凧制作を体験するほか、展示されている世界中の珍しい凧の写真を撮ることもできます。

- 料金 1,300円（入館料含む）
- 4名～8名（高校生以上）
- 世界風物館 東近江大凧会館（東近江市八日市東本町3番5号）
- 本場 第4次展 祝日の翌日、年末年始
- 世界風物館 東近江大凧会館 ☎0748-23-0081
- 10日前までに予約
- 近江鉄道八日市駅より徒歩約15分（八日市駅より5.2km）バス運行

江戸時代から伝わる大凧の歴史や特徴、魅力を知り、願いが込められた干支の凧の製作体験の参加者を募集しています。

見学及び干支凧作り体験料（お一人様） 1,300円（入館料含）  
申込み 10日前に事前申込み 定員 4名～8名（高校生以上）  
詳しくは、

<http://higashiomi-j.com/oodakokaikan/oodakokaikanews/img/2004.pdf>

＝2018年10月の予定＝

- 4日（木）伴谷小学校1年生 希望ヶ丘小学校1年生 見学
- 15日（月）武佐小学校1年生 星の凧作り
- 16日（火）稲枝北小学校1年生 見学と凧作り
- 18日（木）甲南第1小学校1年生 見学
- 19日（金）香里ヌヴェール学校3年生 見学と凧作り
- 19日（金）水口小学校1年生 見学
- 21日（日）家族ふれあいサンデー
- 22日（月）東近江大凧会館 運営委員会
- 25日（木）東北の凧シリーズⅠ 青森・岩手・宮城  
11月26日（月）まで
- 25日（木）葉山小学校1年生見学
- 26日（金）水戸小学校1年生見学
- 27日（土）安土まちづくり協議会 星の凧作り教室
- 28日（日）市辺地区 星の凧作り
- 29日（月）貴生川小学校1年生 見学（雨のみ）
- 10月の休館日  
10/3・10/9・10/11・10/17・10/23・10/24  
一月一凧は今号休みます。